

第6回 放送番組審議会議事録

- 1 開催年月日 平成24年 1月26日
- 2 開催場所 神奈川県愛甲郡清川村
- 3 委員出席 委員総数 7名 出席委員数 5名
出席委員の氏名 長田重穂 山本善男 藤田義友 山口洋子 朝倉英明
- 4 議題
- 1 災害対策について
 - 2 放送区域外の観光地の広告の取り扱いについて
 - 3 休日の放送番組(コーナー)「ようこそきよかわ」
- 5 議事の概要
- 1 放送局自体の災害対策の概要報告
 - 2 放送区域外の観光地の広告の取り扱いについて意見聴取
 - 3 同時録音したものを聴取
- 6 審議内容
- 審議委員からの発言
- 1 放送担当代表取締役の説明から、資金の問題より、清川村の地勢と法令による規制が、災害対策を難しくしていると感じられる。
 - ・ (聞いた話として)、清川村でも、東北地震の際、燃料確保が難しかった。
 - 2 清川村の観光・商業事業者の中で地域の放送局だから「無料」(地域の放送局に金銭を払ってまで広告をするのはおかしい)との意見もあることは、知っていたが、ダム及びダム湖観光地集客数日本一であり、そこへ集まる来訪者に、他の観光地の宣伝を行うことは、商業放送としても経営の安定化、村内の聴取者には、他の観光地でどのようなことを行っているのかなど、結果、地域の活性化につながると感じたので、是非、本件を進めてほしい。
 - 3 放送番組を聞いての意見。
 - ・ 観光地以外のイベントについても、放送でとりあげる。
 - ・ イベント会場との電話による中継は、臨場感あってよかった。
 - ・ この番組には、直接関係ないが、音楽を目指す人たちを紹介するコーナー等を考えてほしい。(演歌を含めてとの意見もあった。)
- 7 審議機関の答申または意見に対してとった措置の内容及びその年月日
- 放送担当代表取締役
- 1 防災協定締結のための話し合いや、防災関係機関との会合等の際、以下の点について、協力(支援)等をお願いする。
 - ・ 昨年の法令改正により、放送局の信頼性や安全対策が求められているが、電力、通信回線事情ともに、システムの末端に位置し、災害時に対する早急な体制も、都市部優先ということから期待できないこと、また、平成24年度にも予定されているガソリンスタンド等の燃料タンクに対する規制強化により、災害時の燃料の確保が(最悪、村内に、たった1か所の燃料販売店がなくなる恐れもあることから)困難とも思慮されていること。
 - 2 取締役1人と放送局長を中心に、他の観光地からの広告取得のための準備に入ることとした。
 - 3 イベントについては、事前情報をいただけるよう、関係機関に働きかけます。
 - ・ 4月をめどに、いわゆるインディーズのコーナーを設けるようにし、地域の生涯学習を行う団体(趣味の団体を含む)から、活動内容等を紹介してほしいとのお話もあったので、併せて、コーナーを設けたいと考えています。

- ・ 電話による中継は、放送の目玉としたいが、イベント主催者等の許可を得にくい(出演を断られる)ことも多いが、今後も、できるだけ行いたい。